

# RZ

## LEXUS、バッテリーEV専用モデルの新型「RZ450e」を発売

—カーボンニュートラル社会の実現に向けたバッテリーEV 展開の幕開けとなるモデル—

- 電動化ビジョン「Lexus Electrified」に基づいたLEXUSならではのドライビング体験を提供
- 新四輪駆動力システム「DIRECT4<sup>\*</sup>」の採用など人の感性に寄り添った独自の乗り味をさらに進化
- 機能的本質や動的性能に根差したプロポーションとLEXUSバッテリーEVの独自性を追求したデザイン
- 人間中心の考え方に準じた先進安全技術とおもてなし機能
- 発売を記念した特別仕様車“First Edition”を500台限定で販売開始



LEXUS RZ “Version L”

LEXUSは、バッテリーEV（以下、BEV）専用モデルとなる新型「RZ」を3月30日に発売しました。最初に発売される500台は、発売を記念した特別仕様車“First Edition”となります。

2005年のRX400h発売以降、LEXUSはラグジュアリー市場における電動化の先駆者として、常に優れた走行性能と環境性能の両立を追求してまいりました。2019年に発表した電動化ビジョン「Lexus Electrified」に基づき、HEV、PHEVなどの電動車の普及を通じ、多様なお客様や市場のニーズに寄り添いながら、カーボンニュートラル社会の実現を目指して参ります。また、電動化技術を用いた基本性能の大幅な進化を実現し、レクサスのバッテリーEVならではのドライビング体験やライフスタイルをご提供して参ります。カーボンニュートラル社会の実現に貢献すべく、今後も電動車の開発と普及を加速してまいります。

新型 RZ は、LEXUS 初の BEV 専用モデルとして、電動化技術がもたらす LEXUS らしいクルマを感性に訴えかける走りやデザインで表現し、BEV を軸とするブランドへの変革の起点となるモデルです。BEV 専用プラットフォーム(e-TNGA)採用に加え、バッテリーやモーターの最適配置による理想的な慣性諸元や、軽量かつ高剛性なボディの実現により、車両の基本性能を大幅に進化させました。また、電動化技術を活用した四輪駆動力システム「DIRECT4」の採用などで、より人とクルマが一体となった気持ちの良いドライビングフィールをもたらします。更に、ドライバーにクルマの状態変化を自然に伝える音作りも追求。これらの作り込みを LEXUS の新たな開発拠点となる Toyota Technical Center Shimoyama で行い、LEXUS ならではの走りの味「Lexus Driving Signature」を進化させています。

エクステリアデザインでは、BEV ならではのシームレスな加速感とトルクフルな躍動感を表現。スピンドルグリルも、内燃機関の冷却などの必要がない BEV の機能的な進化や更なる空力性能向上を目指して、「スピンドルボディ」という塊感のあるボディと一体となった造形としました。LEXUS の独自性を表現することに挑戦することで、新たなデザインの方向性と BEVらしさを両立しています。またインテリアデザインでは、SDGs やサステナブルなモビリティを中心に考え、素材や装飾によるラグジュアリーな演出に頼らない、洗練された空間づくりにこだわり、機能的本質を追求したシンプルな設えの中にも、モノづくりの細やかさや上質さを感じられる空間を実現しています。その他にも、開放的な空間づくりに寄与するパノラマルーフや、輻射熱ヒーターを含めた空調の協調制御による高効率な暖房システムが、快適な室内空間を提供します。

なお、今回の発売に合わせ、お客様の RZ とともに過ごす時間をより豊かにするためのサービスプログラム「LEXUS Electrified Program」の提供を開始します。

## < 新型 RZ の主な特長 >

### ① 電動化技術を活用した人の感性に寄り添った LEXUS ならではの乗り味の進化

- ・ドライバーの意図に忠実な走りを支える新四輪駆動力システム「DIRECT4」
- ・BEV 専用プラットフォームの採用と素性の進化による高い運動性能の実現
- ・LEXUS の DNA である静粛性の高い空間と音作りの両立
- ・走りに貢献する空力性能と BEV ならではの先進的なデザイン
- ・長年 HEV で培った技術を活用した BEV システム

### ② 機能的本質やパフォーマンスに根差したプロポーションと独自性を追求したデザイン

- ・LEXUS BEV の独自性を強調するプロポーションと新表現「スピンドルボディ」
- ・電動化技術がもたらす走りの躍動感を表現したサイド、リヤデザイン
- ・BEVらしさを引き立てるエクステリアカラー
- ・クリーンで開放的なおもてなし空間
- ・走りの楽しさを最大化させるコックピット
- ・居心地の良い室内を彩るアンビエントイルミネーションとインテリアカラー

### ③ 移動体験をより豊かにする先進安全技術とおもてなし機能

- ・ 先進の予防安全技術 Lexus Safety System +
- ・ 快適な移動を支える Lexus Teammate
- ・ 心地よい空間を支えるおもてなし機能
- ・ 先進技術による新たな機能価値
- ・ 先進性と利便性を高めたマルチメディアシステム
- ・ 安心と快適さを追求した G-Link<sup>\*2</sup>

#### 【新型 RZ 主要諸元】

全長	4,805 mm
全幅	1,895 mm
全高	1,635 mm
ホイールベース	2,850 mm
タイヤサイズ	18/20インチ
航続距離	494km <sup>*3</sup>
電費	147Wh/km <sup>*3</sup>
総電力	71.4kWh
急速充電規格	CHAdeMO
最高出力 [PS]	フロント：150kW[204] リヤ：80kW[109]
最大トルク [kgf・m]	フロント：266N・m[27.1] リヤ：169N・m[17.2]

\*1 「DIRECT4」はトヨタ自動車（株）の登録商標です

\*2 「G-Link」は東京ガス株式会社の商標です。使用許諾を受けて使用しています

\*3 J-WLTCモード・20インチ装着車

- <凡例> ○：2022年4月20日のプレスリリースから変更なし  
☆：2022年4月20日のプレスリリース以降の追加情報を一部含む  
(追加情報は太字にて記載)  
★：2022年4月20日のプレスリリース以降の追加情報

## 電動化技術を活用した Lexus Driving Signature の進化

あらゆる走行シーンで減速、操舵、加速がシームレスに繋がる気持ち良さなど、ドライバーの意図に忠実でリニアな応答を目指す LEXUS ならではの乗り味「Lexus Driving Signature」。

RZ では、バッテリーやモーターの最適配置による理想的な慣性諸元と高応答、高精度なモータートルク制御などによって、車両の基本性能を大幅に進化させています。

また、走りのコンセプトを“The Natural”とし、運転状況や路面の状態に応じて前後の駆動力をコントロールする四輪駆動力システム「DIRECT4」をベースに、ドライバーの操作に対して車両が素直に応える乗り味を実現、Lexus Driving Signature をさらに高い次元へと引き上げています。

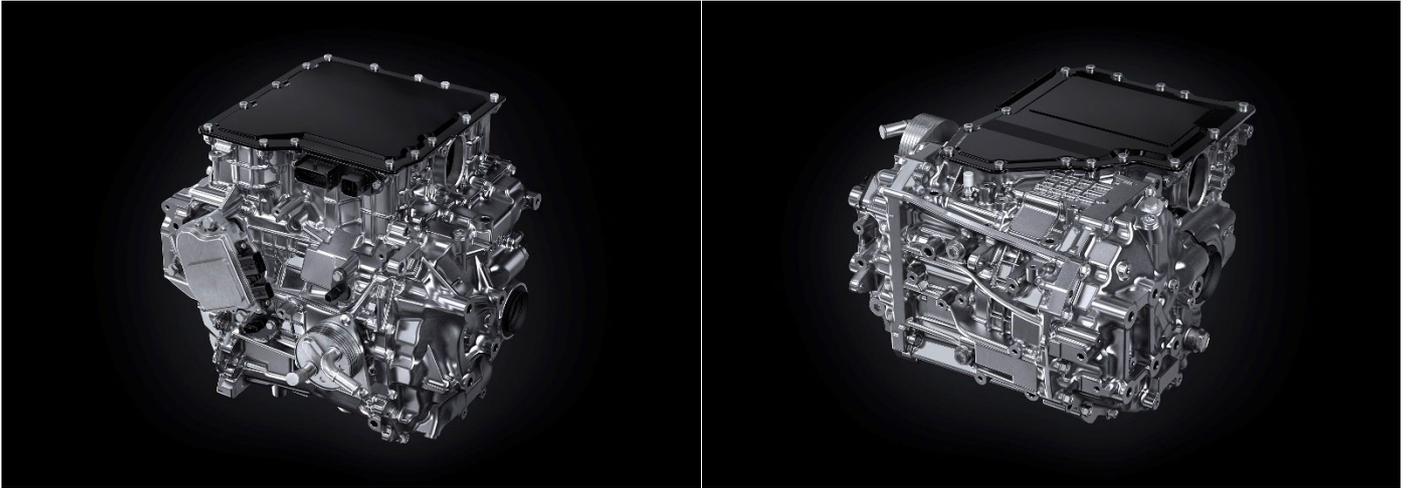
### <ドライバーの意図に忠実な走りを支える電動化技術>

○ドライバーの意図に沿った気持ちの良い走りを実現する四輪駆動力システム DIRECT4 と、高出力モーター「eAxle」により、路面や走行状態を問わずクルマの接地加重に応じて常に四輪の駆動力を緻密に制御します。

○DIRECT4 の駆動力配分制御は、車輪速センサー、加速度センサー、舵角センサーなどの情報を用いて、前輪：後輪=100:0～0:100 の間で制御し、発進加速性、操縦安定性の向上、低電費に貢献します。発進時、直進加速時は、車両のピッチングを抑え、ダイレクトな加速感が得られるように、前輪：後輪= 60:40～40:60 程度で制御します。

コーナリング時には車速、舵角などの情報を用いて、走行状態に合わせて駆動力配分を最適に制御することで優れた操縦安定性に寄与します。ステアリングの切り始めにはフロント寄りの駆動力配分（75:25～50:50）、コーナー脱出時はリヤ寄りの駆動力配分（50:50～20:80）とすることで、トラクション性能の確保や車両のピッチングを抑えながら、俊敏にクルマが曲がる気持ちのよい旋回フィーリングを実現しています。また、システムの最大効率で前後駆動力配分をコントロールするなど、消費電力を抑制する Range モードを LEXUS 初採用しています。LEXUS が培ってきた電動化技術と車両運動制御技術を融合し、ドライバーの感性に寄り添った走りを実現しています。

○航続距離、広い車内空間、優れたデザイン性に貢献するため、モーター、トランスアクスル、インバーターを完全一体化し、コンパクトな構造の eAxle を搭載。フロントの eAxle は前後方向に短いシステム配置とし、リヤの eAxle も低背な配置により、室内や荷室空間の拡大につながるパッケージとしています。また、リヤには SiC 素子を使った高効率なインバーターを用いることにより航続距離の伸長に貢献しました。

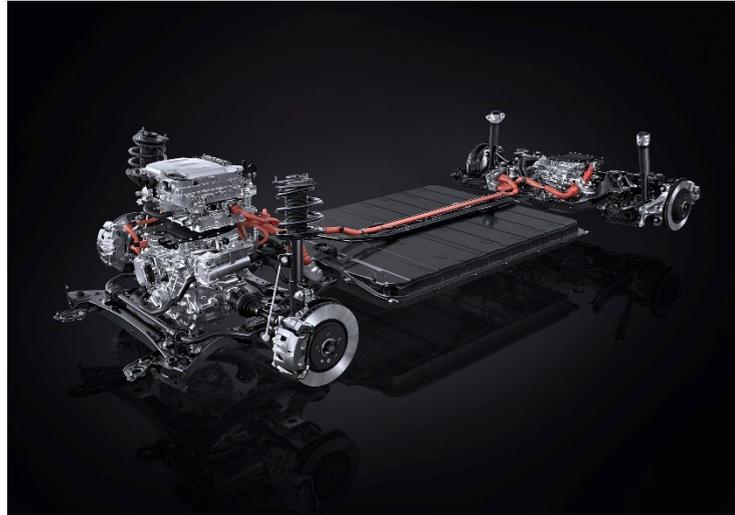


左：フロント eAxle 右：リヤ eAxle

○Lexus Driving Signature の実現に寄与するブレーキフィーリングを目指し、前後独立油圧制御により前後回生協調が可能な新加圧ユニットを採用。LEXUS の長年にわたるハイブリッド技術の実績と経験値をもとに回生ブレーキシステムをさらに進化、違和感のないブレーキフィーリングと制動のシームレスなつながりに加え、回生エネルギーの高効率化により航続距離の伸長に貢献しています。また、ドライバーのブレーキ操作量に応じた前後輪の制動力配分を最適化することで、安定した車両姿勢を実現しました。加えて、人間工学に基づいたブレーキペダルパッドを採用し、踏み変え／踏み込み操作のしやすさを追求しました。

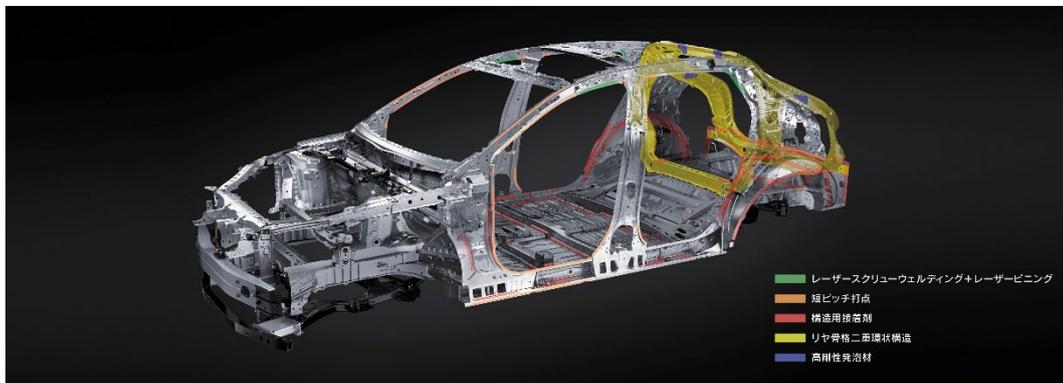
### <BEV 専用プラットフォームの採用と素性の進化による高い運動性能の実現>

○車両の基本性能を大幅に進化させ、クルマがもたらす楽しさ・喜びを提供するため、LEXUS 初の BEV 専用プラットフォーム(e-TNGA)を採用。バッテリーの車両フロア下への搭載による低重心・低慣性モーメントという運動性能の素性に優れた特徴を活かし、操縦安定性と乗り心地を高い次元で両立しました。また、気持ちの良い走りのために、ラジエーターサポート部の補強とV字状のブレースを追加することでボディを強化。さらに、タワーバーとフェンダーブレースはステアリングの応答性を、ロアバック部の補強はリヤの追従性をそれぞれ向上させています。グレードによりフロント、リヤに「パフォーマンスダンパー<sup>®</sup>」\*1を設定することでボディの無駄な動きを軽減し、よりダイレクトな応答性をもたらします。



BEV システム

○操縦安定性や乗り心地の向上のために、ボディ骨格の接合にレーザースクリューウェルディング（LSW）や構造用接着剤、レーザーピニング溶接技術を積極的に採用。リヤのラゲージ開口部では、変形を抑えるために、二重環状構造に加え、高剛性発泡剤を取り入れることで歪みにくい構造としました。また、航続距離の伸長へ貢献するため、フロント／センターピラー、フロントレールへ 1.8GPa 材と 1.5GPa 材を重ね合わせたパッチワーク工法を採用。さらに、ルーフセンターラインフォースメントへの 1,470MPa の引っ張り強さを持つ冷間圧延鋼板、フードへの軽量アルミ、ドアモールディング／ホイールアーチモールディング／バックドアガーニッシュへ発泡樹脂成型を採用するなど、徹底した軽量化にも取り組んでいます。



高剛性・軽量ボディ（イメージ）

○サスペンションは、フロントにマクファーソンストラット式、リヤにはトレーリングアーム式ダブルウィッシュボーンを採用。路面入力の周波数に応じて伸び側ストロークの減衰力を変化させ、乗り心地を損なうことなく高い操縦安定性を提供する周波数感応アブソーバーFRD<sup>\*2</sup> II をLEXUS 初採用しました。高剛性ボディと素性の優れたプラットフォームの特徴を最大限に引き出し、すっきりとした操舵フィールとリニアな応答性、操舵・加速に対する自然な姿勢変化、ばね上の動きの緻密なコントロールなどを通じて、Lexus Driving Signature の体現に寄与しています。

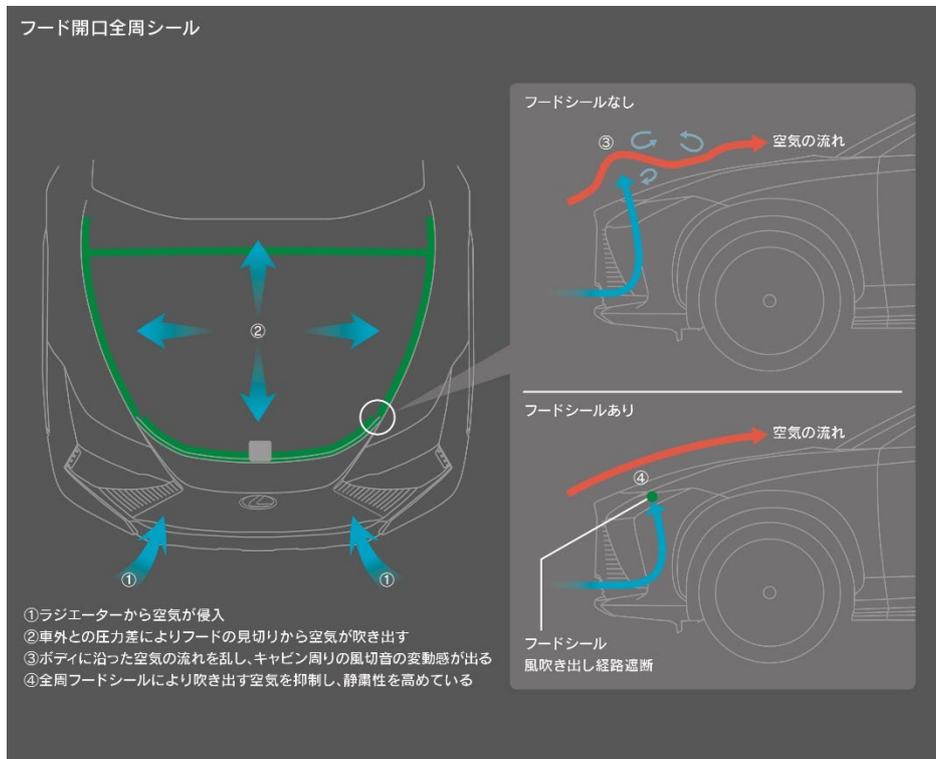


左：フロントサスペンション 右：リヤサスペンション

### <LEXUSらしい音作りと静粛性の高い空間>

○BEV においても、クルマと人が対話を通じ運転を楽しめるような音作りを追求しました。速度に合った周波数、加速度に応じた音量などに配慮したサウンドにより、車両の走行状況をドライバーへリニアに伝えることで、運転感覚に自然に寄り添う空間作りを目指しました。モーター音が乗員へ心地よく響くよう、音色や音響伝達特性にもこだわったチューニングを行っています。

○室内の快適性を最大限に高めるために、静粛性も追求しました。床下バッテリーに遮音壁としての機能を持たせたほか、フード開口の全周にシールを設定することで風流れの乱れによるフード周りのノイズを除去。前後席のアコースティックガラス採用に加え、新断面のガラスランを採用することで、高速走行時も車内での会話を邪魔しない静粛性を実現しています。



フード開口全周シール

## <BEV ならではの先進的なデザインと走りに貢献する空力性能>

- 特徴的なルーフスポイラーは、スポイラーサイド部の形状により発生させた縦渦が横風発生時のボディに働く空気力を抑え、走行安定性を確保します。ルーフ中央部は、傾斜させたりヤガラス面から車両後方へ段差無くスムーズに風を流す形状とし、トランクエンドのダックテール形状は、後流の風流れバランスを整えることにより空気抵抗を低減。さらに、ダウンフォースによる安定感のある走りにも貢献しています。
- 床下もアンダーカバーをフラット化することで空気抵抗を低減させながら、走行安定性へも寄与しています。フロント側のカバーにはディンプル形状を設け、微小渦を床下に発生させることにより接地感を高めるとともに、スタビリティを高めています。
- エンジン冷却用のラジエーターを必要としない BEV の特徴を最大限活かした低いフードデザインやフロントグリル開口の最小化に加え、グリルシャッターを採用。冷却風を必要としない場合、グリルシャッターを閉じることにより空気抵抗を低減しています。



空力性能

## <HEV 開発で培った技術を活用した BEV システム>

☆約 494km<sup>\*3</sup> の航続可能距離と Lexus Driving Signature を両立するため、HEV で培った技術を活用し、専用プラットフォームの良さを最大限に引き出すシステムを開発しました。BEV 専用大容量電池や、シリコンカーバイドのパワー半導体素子をインバーターに採用<sup>\*4</sup>、HEV 開発で培った低損失化技術も織り込むことで、航続可能距離の伸長に貢献しています。

☆電池昇温システム<sup>\*5</sup> の搭載や電池制御技術の向上により世界トップクラスの電池容量維持率(10 年後 90%以上<sup>\*6</sup>)の確保を目標とし、お客様に長く安心してお使いいただくことが出来ます。また、タイマー充電機能<sup>\*7</sup> と組み合わせることにより、さらに高い電池容量を維持することが可能となります。

\*1 「パフォーマンスダンパー」はヤマハ発動機（株）の登録商標です

\*2 FRD: Frequency Reactive Damper

\*3 充電走行距離の数値は 20 インチタイヤ装着車。J-WLTC モード

\*4 シリコンカーバイドのパワー半導体素子のインバーターへの採用はトヨタ/LEXUSとして初

\*5 電池昇温用低電圧ヒーターに加えて、空調用高電圧ヒーターを活用することで、従来の電池昇温システムと比較して、より多くの熱を電池に供給可能

\*6 電池セル単体を用いて、当社設定の平均的な使用方法を想定した試算値。車載環境における実際の電池容量維持率は、お客様の使用状況、使用環境や運転方法に応じて異なりますので、10 年後の電池容量維持率 90%をお約束するものではありません。

\*7 タイマー充電機能：走行直後の充電を避けることで、劣化を抑制

充電量上限設定機能：満充電(高 SOC)を避けることで、劣化を抑制

## 機能的本質や動的パフォーマンスに根差したプロポーションと独自性を追求したデザイン

新型 RZ では、2021 年以降に発表した NX や LX、RX に続き、次世代 LEXUS のデザインランゲージの確立に向けて、機能的本質や動的パフォーマンスに根差したプロポーションと独自性の追求を目指しています。デザインコンセプトを「Seamless E-Motion」とし、BEV ならではのシームレスな加速感とトルクフルな躍動感を表現。更に、内燃機関のない BEV の機能的な必然性から、フロントデザインを従来の表現から「スピンドルボディ」という塊造形とすることで、LEXUS の独自性を表現することに挑戦しています。インテリアでは、BEV の動力性能にインスピレーションを受け、クリーンで軽快なイメージを表現。機能的本質を追求したシンプルな設えの中にも、モノづくりの細やかさや上質さを感じられる空間を実現しています。また、それぞれの乗員をもてなす空間づくりをベースに、クルマとドライバーが直感的につながり、より運転操作に集中できるコックピット思想「Tazuna Concept」を取り入れています。

### ▽エクステリアの主な特徴

#### <LEXUS BEV の独自性を強調するプロポーションと新表現「スピンドルボディ」>

- 高出力モーターの力を路面に伝える大径タイヤの四隅配置と、リヤタイヤをワイドトレッド化した前後異形タイヤ採用による低重心なスタンスが走りの良さを表現し、ひと目で LEXUS の BEV と分かるデザインを実現しています。また、BEV ならではの低いノーズから始まりキャビンへ滑らかに連続するシルエットは、後方へピークを持たせることで、リヤの居住性の良さを感じさせ、ロングホイールベースを活かした車両を水平に貫くドア軸とで伸びやかな印象を演出しています。
- グリル開口部分の内燃機関の冷却用構造を必要としない BEV の特徴を反映し、LEXUS の象徴でもあるスピンドルをグラフィックでは無い、立体の塊で表現し「スピンドルボディ」という新たな表現へと進化させています。中央のスピンドルボディの両側を設計や生産技術との取組みで実現した立体的なフロントフェンダー、フロントバンパーのスピンドルボディを強調する造形や配色で LEXUS の BEVらしさを強く主張します。



LEXUS RZ スピンドルボディ

## <電動化技術がもたらす走りの躍動感を表現したサイド、リヤデザイン>

○サイドは、フロントフェンダーのタイヤを掴み後方に連続する造形で車両を牽引する力強さと、リヤフェンダーのタイヤを強調する力強い立体により、DIRECT4 による躍動感ある走りのイメージを表現しています。また、これら二つの立体がフロントタイヤからリヤタイヤへ淀みなく変化するドアの抑揚により、艶やかで見ごたえある面質を追求しています。



LEXUSRZ サイド

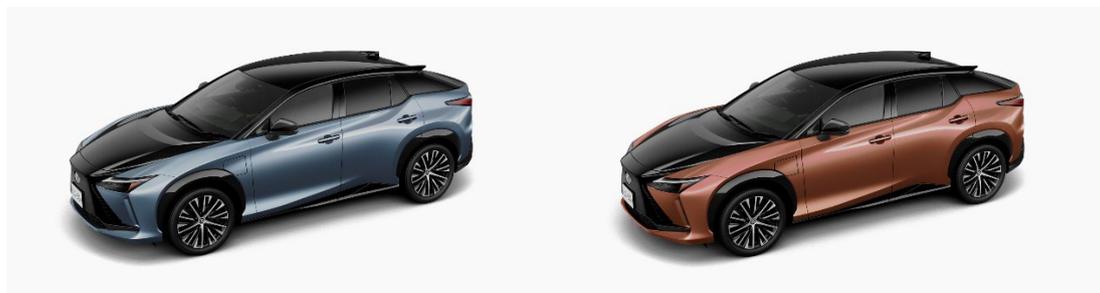
○リヤはクリーンでシンプルな水平基調のデザインに、張り出したタイヤを強調する造形を組み合わせ、BEV のトルクフルな走りを支える力強いスタンスが際立つデザインとしています。また、一文字リヤコンビネーションランプと NX から続く新たな LEXUS ロゴタイプを採用。センター部を薄型とした形状の赤色レンズ部が、ロゴタイプを際立たせ、シャープさも強調しています。



LEXUSRZ リヤ

## <BEVらしさを引き立てるエクステリアカラー>

○エクステリアカラーも、BEVの軽快な走りを感じさせる「イーサーメタリック」や、LEXUSとして新たな金属質感表現を追求した「ソニックカッパー」を含む6色を設定。更に、スピンドルボディ正面から上面のボンネット、ルーフにまでソリッドブラックをあしらひ、スピンドルボディを強調したモダンなバイトーンカラーを設定することで、よりLEXUSらしいBEVの独自性を際立てます。



左：バイトーンカラー（イーサーメタリック×ブラック）  
右：バイトーンカラー（ソニックカッパー×ブラック）

## ▽インテリアの主な特徴

### <クリーンで開放的なおもてなし空間>

○カウルからドアへの連続感ある全体造形に、低く配置したインパネを組み込み、ドライバー席と助手席へと抜ける空間を設けたコンソール、シンプルなドアトリムが開放的でクリーンな印象を与えます。また、「ウルトラスエード®」<sup>1</sup>を施したドアトリムオーナメントやシート、木目調のコンソールアッパーパネルにより、上質なおもてなし空間を実現しています。



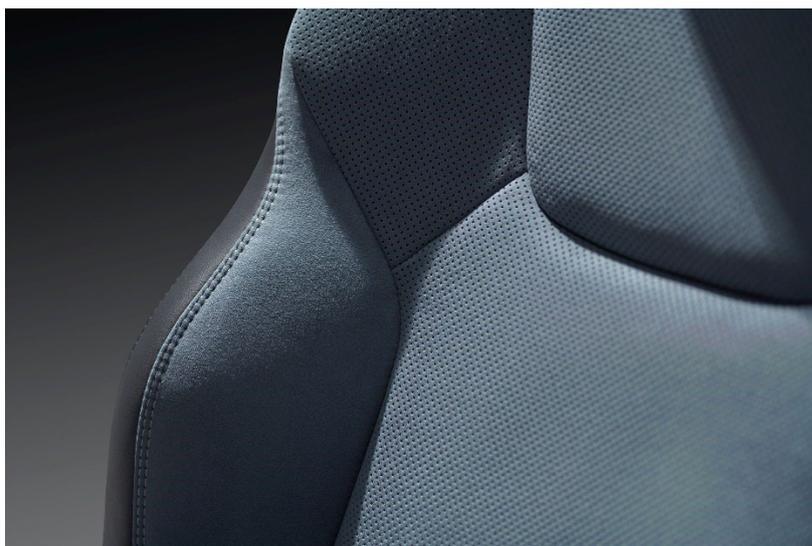
LEXUS RZ 450e

○ロングホイールベースによって、1,000mm のカップルディスタンスを確保したゆとりのある後席空間を実現。また、後方にピークを持たせたキャビンシルエットにより、圧迫感のない後席ヘッドクリアランスが乗員に開放感を提供します。加えて、パノラマーフ仕様では、更なる開放感と前後への抜けの良さを引き立てています。



LEXUS RZ450e “Version L”

○シート表皮に、バイオ素材約 30% 使用したサステナブルな素材で、温かみのある上質さを追求した「ウルトラスエード」を採用。クリーンでモダンな空間に、質感にこだわったシンプルなシート表皮を組み合わせることで、心地よい解放感を表現しています。



シート表皮「ウルトラスエード」

★センターコンソール前方には、おだけ充電トレイを設定したほか、インストルメントパネルに充電用 USB コネクタ (Type-C) を 2 個設定するとともに、通信用 USB コネクタ (Type-C) を 1 個設定。さらに、センターコンソール後部にも充電用 USB コネクタ (Type-C) を 2 個とアクセサリコンセント (AC100V・1500W/非常時給電システム付)、HDMI 端子 (1 個) を設定するなど、お客様の利便性を向上させています。



LEXUS RZ450e “Version L” センターコンソール

### <広さと使い勝手にすぐれたラゲージルーム>

★後席後方のラゲージルームは容量 522L で、後席を倒さずに、9.5 インチゴルフバッグ\*<sup>2</sup>なら 3 個、スーツケース\*<sup>2</sup>なら 110L と 97L を 1 つずつ積み込むことができます。加えて、デッキサイドにはアクセサリコンセント (AC100V・1500W/非常時給電システム付) を 1 つ設置し、幅広いシーンでの利便性を高めています。さらにデッキサイドに 2 つ、バックドアに 1 つ LED ランプを設定することで、夜間の使い勝手にも配慮しました。

### <走りの楽しさを最大化させるコックピット>

○LEXUS のクルマづくりに根付いている人間中心の思想をさらに進化させた新たなコックピットデザインの考え方「Tazuna Concept」に基づきデザインしました。人が馬を操る際に使う「手綱」に着想を得て、ステアリングスイッチとヘッドアップディスプレイを高度に連携させ、視線移動や煩雑なスイッチ操作をすることなく、運転に集中しながらナビゲーションやオーディオ、ドライブモードセレクトなど、各種機能の制御が可能な空間を実現しています。



LEXUS RZ450e “Version L” コックピット

○センターディスプレイは大型のタッチディスプレイを採用し、多くの機能をディスプレイ内のソフトスイッチに集約。スイッチのサイズや形、レイアウト、表示情報など細部までこだわり、各機能の使用頻度も考慮しながら直感的に操作できる最適な配置と形状を追求しています。また、シフトバイワイヤを採用するとともに、LEXUS 初となるダイヤルシフトノブをセンターコンソールに配置。繊細に造り込まれた意匠で見ごたえのある質感を演出しつつ、ワンアクションでのスマートなシフト操作の実現と、シンプルでクリーンなコックピットデザインに貢献しています。



LEXUS RZ450e “Version L” ダイヤルシフトノブ

### <居心地の良い室内を彩るアンビエントイルミネーションとインテリアカラー>

○先進性とクリーンさを併せ持つ ORAGE（オラージュ）、華やかな HAZEL（ヘーゼル）、モダンな GRAYSCALE（グレースケール）の 3 配色を設定。お客様のライフスタイルに合わせた室内を提供します。



左：オラージュ 右：グレースケール 下：ヘーゼル

○アンビエントイルミネーションが、乗車時の豊かな体験を提供。美しい自然現象を見た際の感情や気持ちの変化を表現した 14 色を推奨カラーとして設定しています。また、世界初となる陰影イルミネーションはドアの開閉時に、ドアトリムオーナメントに投影された光の陰影が変化し、室内空間に新たな華を添えます。



LEXUS RZ450e “Version L” 陰影イルミネーション

\*1 「ウルトラスエード」は東レ株式会社の登録商標です

\*2 ゴルフバッグやスーツケースの形状によっては搭載できない場合があります。また、容量はVDA方式で測定しています

## <先進の予防安全技術 Lexus Safety System +>

LEXUS はモビリティ社会の究極の願い「交通事故死傷者ゼロ」を掲げ、安全技術開発を進めています。世界トップレベルの先進安全技術をより早く開発し、より多くのクルマに普及させていくことが重要という考えのもと、今回の RZ では最新の Lexus Safety System +を採用。プロアクティブドライビングアシストの支援シーン追加や、ドライバーモニターとの連携によるドライバーの運転状況に応じた最適制御など、お客様の安心安全なドライブにより一層貢献します。

### ▽主な性能向上機能

○プロアクティブドライビングアシスト [PDA<sup>\*1</sup>]は、従来の機能に加え、信号交差点に対する右左折時の減速支援や車線内走行時には常時支援し、より幅広い運転状況に応じた適切な操作サポートを通じて、お客様の安全安心な運転に寄与します。

○オプション選択によって装着可能なドライバーモニターと連動した以下の機能が、お客様の運転をサポートします。

プリクラッシュセーフティ [PCS<sup>\*2</sup>]：ドライバーの脇見運転等をシステムが検知した場合、早いタイミングでドライバーへ警告。ドライバーの反応時間を確保し、衝突回避や被害軽減をサポートします。

レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）：ドライバーモニターの注意喚起機能が有効にされている時、ドライバーに注意喚起を行うとともに、通常運行時における安全マージンを確保する支援制御を行い、ドライバーが正常状態に復帰したときに、安心して運転を再開できるようにします。

レーンディパーチャーアラート [LDA<sup>\*3</sup>]：ドライバーの脇見運転等をシステムが検知した場合、通常より早いタイミングで警報や車線逸脱抑制を作動。

ドライバー異常時対応システム：レーンレーシングアシスト [LTA<sup>\*4</sup>] 制御中にドライバーの運転姿勢が大きく崩れた場合等に、システムはドライバーの運転継続が困難と判断し、ハザードランプの点滅など周囲に警告を行いながら緩やかに減速。車線内に停車します。また、停車後にドア解錠やヘルプネット自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

## <快適な移動を支える Lexus Teammate>

高度運転支援技術「Lexus Teammate」\*5の新機能「アドバンストドライブ（渋滞時支援）」と「アドバンストパーク（リモート機能付）」を採用しました。

### ○「アドバンストドライブ（渋滞時支援）」

自動車専用道路での運転において、渋滞時（0km/h～約 40km/h）レーダークルーズコントロール及びレーンレーシングアシストの作動中に、ドライバーが前を向いているなど一定の条件を満たすとシステムが作動。認知、判断、操作を支援<sup>6</sup>することで、ドライバーは渋滞時の疲労軽減が可能となり、より周囲に注意を払った安全運転が可能。

### ○「アドバンストパーク（リモート機能付）」

並列駐車時の支援を拡大。従来のバック駐車に加え前向き駐車に対応し、前向き／バック出庫が可能となりました。また、スマートキー携帯時に、車外から専用アプリをインストールしたスマートフォンを操作することで、駐車および出庫が可能なりモート機能も採用。お子様やご高齢の方を広い場所で乗り降りさせてあげたい時やトランクから荷物を取り出す際など駐車時での使い勝手を向上しています。

## <快適な空間づくり各種機能>

○お客様の快適な移動体験を提供しつつ、特に冬季における EV 航続距離の最大化に向けて、高効率ヒートポンプシステムと輻射熱ヒーター(フィルム式)<sup>7</sup>を採用しました。輻射熱ヒーターは最高約 100℃まで昇温可能で、素早く乗員の足元を温める快適性と人体が接触すると瞬時に温度を下げる技術により安全性を両立しています。更に、温熱デバイス(シートヒーター、輻射熱ヒーター)の使用時にエアコンと協調し、電池消費を抑えつつ、温かな室温を提供する制御を導入しました。



輻射熱ヒーター

○前席上部から後部座席の乗員頭部まで設けた抜け感のある空間に寄与するパノラマルーフは、床下へのバッテリー搭載に伴う床面上昇により、乗員のヘッドクリアランスが圧縮されることを避けるために、サンシェードを廃止。シェードレス化にあわせ、遮熱・断熱や紫外線を99%カットする「Low-E ガラス」により頭上空間を確保しつつ、直射日光や紫外線が厳しい環境下でも車室内を快適に保つことを可能にしています。更に、ルーフガラスではLEXUS初となる調光機能を設けることで、乗員のニーズに応じて、瞬時に遮光できます。



LEXUS RZ450e 調光機能付パノラマルーフ

### <先進技術による新たな体験価値>

- ★OTA<sup>\*8</sup>アップデートにより、常に最新のソフトウェアに更新可能。購入後もクルマに新たな機能が追加されるとともに性能が向上することで、最新の運転支援技術を備えたより安全・安心なクルマへ進化していきます。
- ★ドアのアンラッチ機構をスイッチによる電気制御「e-ラッチシステム」に置き換えることで、無駄な動きのないスムーズなドア操作と滑らかな操作フィーリングを実現しています。
- ★デジタルキー専用のスマートフォンアプリをインストールすることで、この機能を有する車両に対してスマートフォンをデジタルキーとして使用可能となります。スマートフォンを携帯していれば画面操作なしでドアのロック、アンロック、クルマの始動をすることができ、所有するデジタルキーに対応した車が複数ある場合でも1台のスマートフォンだけで操作できます。スマートフォン間でデジタルキーの受け渡しが可能なため、家族や友人間で離れた場所での車両の貸し借りも容易に行えます。

## ＜先進性と利便性を高めたマルチメディアシステム＞

大型化／高解像度化した 14 インチタッチディスプレイを採用するとともに、直感的な使いやすさを追求した最新のマルチメディアシステムを採用しました。また、G-Link<sup>\*9</sup> 機能により、お客様の日常使いに即したサービスを提供。また OTA ソフトウェアアップデートを行うことで、予防安全装備や先進技術の性能を向上し、お客様のライフスタイルに寄り添っていきます。

★直感的な使いやすさを追求した最新のマルチメディアシステムを採用。各種メニューの選択スイッチを運転席側に常時アイコンで表示することで優れたアクセス性を実現するとともに、画面全体のレイアウトも表示エリアを分け、ナビや音楽、車両設定などの操作フローを統一し使いやすさに拘りました。さらに使用頻度の高い機能を簡単に呼び出す操作が可能で、利便性が向上したほか、マップエリアとエアコンエリアを使用ニーズや好みに応じて拡大／縮小できる機能も搭載しています。

★クラウド上の地図情報を活用し、交通情報や駐車場の空き情報をリアルタイムで取得するコネクティッドナビを採用。G-Link 契約中は常に最新の地図データをご利用いただけます<sup>\*10</sup>。さらに、14 インチナビでは従来の車載ナビとコネクティッドナビを組み合わせたハイブリッド型のナビゲーションを採用しています。

★最新の音声認識機能は、ステアリングのトークスイッチ操作による起動に加え、ディスプレイのマイクアイコン操作や音声による起動を可能としました。あらかじめ設定された起動ワード（例：Hey Lexus! など）を発話することで、スイッチ操作や再生中の音楽停止をすることなく、音声認識機能の起動が可能です。さらにクルマと会話するような自然な発話での操作にも対応しています。

★iPhone<sup>\*11</sup> や Android<sup>\*12</sup> デバイスの専用機能を車載機ディスプレイにて使用する、Apple CarPlay<sup>\*11</sup>、Android Auto<sup>\*12</sup> を設定しました。Apple CarPlay は、従来の USB 接続に加え、Wi-Fi による無線接続に対応しています。

★14 インチナビでは、DCM を活用したインターネット接続により、Web サイト（ニュースやブログ、ストリーミング音楽、YouTube<sup>\*12</sup> 動画など）を閲覧することができる Web ブラウザー機能<sup>\*13</sup> を設定しました。

★個人設定を車両に登録することができる「マイセッティング機能」では、従来の車両設定（ドライビングポジション、イルミネーションなど）に加え、ナビやオーディオなどのマルチメディアの設定にも対応しました。スマートキーだけでなく、デジタルキーや Bluetooth 機器（スマートフォンなど）でもドライバーの特定が可能になります。また、G-Link ご契約中は、マルチメディア設定はデータセンターに格納され、別の車両でも利用することができます。

★ユーザーの好みに合わせて、ナビ画面のカラーと字体を 5 種類のテーマから選択することが可能です。

## <安心と快適さを追求した G-Link>

★「My LEXUS」により、スマートフォンでクルマの電池残量や走行距離の確認が可能。さらに乗車前にエアコンを作動させておけるリモートエアコン、充電・給電状況の確認ができる充電管理などのサービスをご利用いただけます。

★「マイカー始動ロック」では、「My LEXUS」からの操作により任意の期間においてクルマを始動できなくすることが可能です。夜間や長期の旅行・出張等の際にご利用いただくことで、クルマを使わない時間のセキュリティを高めることができます。

\*1 PDA= Proactive Driving Assist

\*2 PCS= Pre-Collision System

\*3 LDA= Lane Departure Alert

\*4 LTA= Lane Tracing Assist

\*5 人とクルマが気持ちの通った仲間のように、お互いを高め合い共に走るというトヨタ自動車独自の自動運転の考え方「Mobility Teammate Concept」に基づいて開発

\*6 アドバンスドライブ（渋滞時支援）は自動で運転するシステムではありません。システムを過信せず、ドライバーは常に自らの責任で周囲の状況を把握し、いつでも運転操作ができるよう備えてください

\*7 ステアリングコラム下部および助手席のインストルメントパネル下面に配置

\*8 Over The Air

\*9 「G-Link」は東京ガス株式会社の商標です。使用許諾を受けて使用しています

\*10 GLink を継続ご契約されないお客様は、3年経過後、G-Link 契約をご継続されないお客様においては、地図データを全地図更新で更新する必要があります

\*11 Apple、Apple CarPlay、iPhone は Apple Inc.の商標です

iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています

\*12 Android™、Android Auto™、YouTube は、Google LLC の商標です

\*13 「車内 Wi-Fi」のお申し込みが必要です

## 特別仕様車“First Edition”



RZ450e 特別仕様車“First Edition”（専用イーサーメタリック&ブラック）

特別仕様車“First Edition”は、LEXUS 初の BEV 専用モデル RZ の発売を記念し、全国 500 台限定で販売いたします。特別仕様車専用の配色を施したバイトーンのボディカラー2 種類をはじめ、大径タイヤの四隅配置を更に強調する専用ブラック塗装ホイールを装着。インテリアでは、ステアリングホイールへ特別仕様車専用の印字を、センターコンソール部に専用のプレートをあしらいつつ、オラージュとブラックの専用カラー配色により、通常モデルとは異なる特別感のあるカラーコーディネートとしました。



特別仕様車専用ブラック塗装アルミホイール



特別仕様車専用印字付きステアリングホイール



特別仕様車専用インテリアカラー（オラージュ&ブラック）



特別仕様車専用プレート（センターコンソール部）

## RZ450e 特別仕様車“First Edition”特別装備

- ・ “First Edition”専用ボディカラー  
(専用ソニックカッパー&ブラック<9L6> または専用イーサーメタリック&ブラック<9L7>)
- ・ 特別仕様車専用ブラック塗装アルミホイール  
(フロント:235/50R20 104V タイヤ&8J アルミホイール  
リヤ: 255/45R20 105W タイヤ&9 1/2J アルミホイール)
- ・ 特別仕様車専用印字付きステアリングホイール
- ・ 特別仕様車専用プレート (センターコンソール部)
- ・ 特別仕様車専用インテリアカラー (オラージュ&ブラック)

### 【RZ450e メーカー希望小売価格】

(単位:円)

		駆動	価格* (10%消費税込み)
RZ450e	“Version L”	AWD	8,800,000
	“First Edition”	AWD	9,400,000

\*北海道地区のみ価格が異なります。リサイクル料金は含まれません